◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.374　（2023年度No.2）**　 　2023/1/13

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆屋内, テーブル, ポーズ, 立つ が含まれている画像

自動的に生成された説明

**3年ぶり開催！兵庫・西宮神社で「福男選び」　一番福は神戸出身の22歳大学生　抽選で最前列引き当てた本紙記者も力走　1/10(火) 6:39配信　神戸新聞NEXT**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/cdbee35f1c3be4a34fff0dc6e1638986c02dd629>

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2-6** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **6-17** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **17-18** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **18-28** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **28-33** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **33-40** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

1月06日　　かわら版373号・かわら版ニュース＆トピックス299号を発行

1月10日　　かわら版ニュース＆トピックス300号を発行

1月13日　　かわら版374号・かわら版ニュース＆トピックス301号を発行

**研修等のご案内**

**HACCP制度化への対応は自主的な衛生検査から！**

**様々なメーカーのATP検査キットやタンパク検出キット、簡易培地、アレルゲン検査キット、**

**携帯形微生物観察器を実習で体験してみませんか？**

**開催日程が決定いたしました‼　受講申込受付中!!**

**第9回 HACCP導入へ向けた迅速検査実習**

主催　　迅速検査研究会

（ATP・迅速検査研究会は2022年11月に「迅速検査研究会」に改称しました）

**当研究会の川崎晋会長による自主衛生管理をテーマとした講義、当会理事によるATPふき取り検査や簡易培地に関する講義の他、実際にATPふき取り検査などの操作や、簡易培地の観察などを体験していただきます。**

**また、皆様の日頃のお悩みにお応えするディスカッションの場も設けます。**

HACCP制度化の動きもあるので、

それに対応して自主検査の充実を図りたい！　**でも……。**

「微生物検査を実施しているが、今後は簡易・迅速に

検査ができる培地の導入も検討している」

「簡易・迅速検査で悩みや再確認したいことがあるけど、

社内で相談できる相手がいない」

「ATPふき取り検査の正しい使い方を知りたい」

「アレルゲン検査を始めたいけど、何から始めれば……？」

**そんなお悩みをお持ちの検査担当者・品質管理担当者様へ、**

**座学と実習をご提供します！**

**迅速検査を未経験の方も大歓迎！**



**■開 催 日 時：**

**2023年3月1日（水）9時55分～17時20分 予定**

**受付開始　9時30分～**

※新型コロナウイルス感染症の状況によって中止・延期となる可能性がございます。予めご了承ください。

**■会　　　場：一般財団法人東京顕微鏡院・豊海研究所（東京都中央区豊海町5-1）**

**■定　　　員：16名**

※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

※申込多数の場合は、企業・団体の検査担当者の方を優先させて頂く場合があります。

※大学・専門学校の学生の方もお申し込みも可能です。

※感染防止対策としてマスク着用、手指消毒、体温測定などにご協力をお願いします。

**■受　講　費：賛助会員・法人会員8,000円、一般10,000円**

**（テキスト代・白衣・シューズカバー代込み）**

※テキストとして当会15周年記念誌「現場のためのATPふき取り検査マニュアル」を配布します。

※受講者には修了証を発行いたします。

※公定法などの一般的な食品微生物検査の技術を習得する実習ではありません。

**主な内容 （予定）**

|  |
| --- |
| 【講義】HACCPにおける自主検査の位置づけ、簡易・迅速検査の役割など  【講義・実習】手洗い講習  ※実習では、手洗いチェッカーを用いた手洗い効果の確認を体験していただきます。  【講義・実習】ATP ふき取り検査、タンパクふき取り検査、アレルゲン検査、微生物培地の基礎、など  ※実習では、ATP ふき取り検査とタンパク質検出キット、アレルゲン検査キット、携帯形微生物観察器の操作を体験していただきます。  また、簡易・迅速培地で培養した一般生菌、大腸菌・大腸菌群などの観察を体験していただきます。  【質疑応答】事前に受け付けたご質問や、研修会を通じてのご質問などにご回答いたします。 |

**〔検査資材・試薬提供（予定）〕**

|  |  |
| --- | --- |
| **★微生物検査培地** | アヅマックス、栄研化学、エルメックス、キッコーマンバイオケミファ、ネオジェン ジャパン、  日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★ATPふき取り検査** | エア・ブラウン、キッコーマンバイオケミファ、ネオジェン ジャパン、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★タンパク／アレルゲン検査** | アヅマックス、エア・ブラウン、ネオジェン ジャパン、日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★携帯形微生物観察器** | mil-kin |
| **★手洗いチェッカー** | 東京サラヤ |

参加者からは「色々なキットを体験できてわかりやすかった」「講義も実習も今後の参考になると思う」「これまで現場で使っていたが、疑問点が解消できた」「これから迅速検査を導入するので、社内で情報共有したい」など、迅速検査の初心者から熟練者まで、幅広い層に好評なイベントです

**申込み方法**

**下記の6項目を明記の上、下記へE メールにてお申込みください。**

**1．所属・役職、2．住所、3．氏名（ふりがな）、 4．E - mail、5．電話番号、6．会員or一般**

※当会の賛助会員・法人会員企業と機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります。

Ｅメール： [info@ATP-jinsokukensa.com](mailto:info@ATP-jinsokukensa.com)

**↓ウェブサイトからお申込みいただけます。**

****<https://onl.bz/btmdNs6>

**↓QRコードからもお申込みいただけます。**

講義の後、様々な検査キットを体験して頂きます。

沢山の検査キットが一堂に会する、この機会をお見逃しなく！



**お問い合わせ**

迅速検査研究会（ATP・迅速検査研究会） 事務局担当：立石（たていし） ＴＥＬ：０９０－２９０７－５４５６

**個人情報保護／**お申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、ご本人様の承諾を得ることなく、ATP・迅速検査研究会以外の目的で第三者に提供、開示することはありません。

**利用目的／**お預かりした個人情報は、ご入会・ご継続時の申込管理、ATP・迅速検査研究会のセミナー・勉強会のご紹介、及びこれらに関する各種イベント等のご案内に使用させて頂く場合がございます。

迅速検査研究会 （ATP・迅速検査研究会）

第47回講演会「迅速検査の今日的意義」ご案内

迅速検査研究会　会長　川﨑 晋

迅速検査研究会は2023年2月15日（水）、東京の月島社会教育会館で第47回講演会「迅速検査の今日的意義」を開催します。ふるってご参加ください。(現地参加＆オンライン配信)

（ATP・迅速検査研究会は 2022 年 11 月に「迅速検査研究会」に改称しました）

**プログラム（予定）**　2023年2月15日（水）（開場12：00～、開演13：00～）

|  |  |
| --- | --- |
| 12：00～13：00 | **受付**※受付スタッフにお名刺を 1 枚お渡しください。  会場ロビーにおいて、迅速検査関連の資材の展示を行っております。 |
| 13：00～13：10  （10分） | **【主催者あいさつ】 研究会の名称変更と簡便・迅速検査今後の展望**  迅速検査研究会 会長　**川﨑 晋**　先生  （国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）食品研究部門） |
| 13：10～14：00  （50分） | **【基調講演】 HACCPにおける自主衛生検査と環境検査**  迅速検査研究会 副会長　**森 哲也**　先生  （一般財団法人法人 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 微生物検査部） |
| 14：00～14：30  （30分） | **【講演】 県内食品企業の食品保存性向上を目的とした衛生管理および食品開発支援**  福岡県工業技術センター 生物食品研究所 食品課　**田﨑 麻理奈**　先生 |
| 14：30～14：45 | **【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション①】** 日水製薬株式会社 |
| 14：45～15：05 | 休憩・展示　（会場ロビーにてATP・迅速検査の関連資材の展示を行っております） |
| 15：05～15：20 | **【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション②】** ネオジェン ジャパン株式会社 |
| 15：20～16：10  （50分） | **【講演】 簡便・迅速検査を活用した医療施設における感染／衛生検査**  ワタキューセイモア株式会社 メデイカル営業本部 学術担当部長　**伏見 了**先生  （東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 客員准教授） |
| 16：10～17：00  （50分） | **【教育講演】食品リスクとの科学的な向き合い方**  **～食の信頼を確保するスマート・リスクコミュニケーション**  特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会（SFSS）理事長　**山崎 毅**先生 |
| 17：00～17：20 | **総合討論**（閉会後も会場ロビーにて関連資材の展示を行っています） |

※開演前、休憩時間、閉会後に簡便・迅速検査に関する展示を行っています。ごゆっくりご覧ください。

**【会場】** 月島社会教育会館 （〒104-0052 東京都中央区月島 4-1-1、月島区民センター）

**【定員】** 会場 100 名 ／ ウェブ（ ＺＯＯＭ ）視聴 100 名

**【受講費】** 賛助会員企業・法人会員企業 1,000 円、一般 3,000円 （※事前登録をお願いします）

**【お申し込み方法】**

以下の7項目を記入し、下記メールアドレスまでお申し込みください。

1．所属・役職、2．住所、3．氏名、4．E-mail、 5．電話番号、 6．会場聴講／ウェブ聴講の別、

7．会員／非会員の別　（当会の賛助会員・法人会員、機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります）

**【申し込み・問い合わせ先】**[info@atp-jinsokukensa.com](mailto:info@atp-jinsokukensa.com)

**【Google Formからもお申し込み頂けます】**<https://onl.bz/xyRMA6K>

**QRコードからもお申込みいただけます**

**【会場での感染対策について】**

会場内では新型コロナウイルス（COVID-19）感染予防にご協力をお願いします。

・受付時の検温ならびに手指消毒にご協力ください。

・検温の結果、37.5℃以上の場合は、参加をご遠慮いただく場合があります。

・感染症の流行の状況によってオンライン配信のみになる場合があります。

**【会場アクセス】**

・地下鉄 月島駅 10 番出口（都営大江戸線、東京メトロ有楽町線）

・都バス 月島三丁目

・江戸バス（コミュニティバス） 月島区民センター

**『食品加工機械に関連する「食品の不具合」と改善提言』**

【開催日時】2023年2月18日（土）13：30～16：20

【主　旨】

食品加工機械や構成部品の破損による異物混入、包装不良による食品汚染など、食品加工機械に起因した 「食品の不具合」は食品リコールの対象となり、食品メーカーはリコールにより、莫大な経済的損失を被 る可能性があります。

また、2020 年の食品衛生法の改正にともない、我が国の食品産業界において HACCP システムが制度化されました。

同システムを構築するためには、全フードチェーンに渡る「前提条件プログラム(PRP)」の適用が不可欠であり、食品製造者の PRP には食品加工機械の衛生設計も含まれます。

そのため、食品加工機械に関連する「食品の不具合」に関する関心は高まっていますが、「食品の不具合」の原因、および改善するための施策はあまり知られていません。

今年の市民フォーラムは、食品加工機械に関連する食品の不具合について、具体的なケースを交えて紹介するとともに、それら不具合を改善するための施策について紹介いたします。

**プログラム：**

13：30～13：40 ご連絡 / 開会挨拶

13：40～14：20 講演

『食品加工機械に関連する衛生面の不具合について』

（大阪公立大学 食品安全科学研究センター 日佐 先生）

14：20～14：25 質疑応答

14：25～14：35 休憩

14：35～15：15 講演

『食品加工機械由来の異物混入をテーマにした不具合事例と改善提案』

（元 キューピー㈱ 野呂様）

15：15～15：20 質疑応答

15：20～15：30 休憩

15：30～16：10 講演

『食品のプラスチック製容器包装の不良による自主回収の原因と対策を考える』

（元 生活協同組合連合会ユーコープ事業連合 藤平様）

16：10～16：15 質疑応答

16：15～16：20 閉会挨拶

［備考：終了時間は多少前後する可能性があります。］

会場 オンライン開催

参加費　無料（定員：90名）申込締切 2023年2月11日（土）

【申込方法】

以下のURLから2023年2月11日（土）までにお申込み下さい。

URL：<https://jsme22-143.peatix.com>

本セミナー参加のためのURLはお申込み頂いたメールアドレスへ開催日3日前までに通知いたします。

【お申込の際の注意事項】

はじめてPeatixを利用される方はお申込み前にPeatixアカウントを取得（新規登録）していただく必要がございます。 （Peatixアプリのダウンロードは必須ではありません．）

本ページにある「チケットを申し込む」をクリックし、必要事項をご入力の上、申込みのお手続きをお願いします。

お一人ずつ個人単位でのお申込みをお願いします。

お申込内容は、PeatixアカウントもしくはPeatixより配信されるお申し込み詳細メールからご確認いただけます。

メールが届かない場合は、「peatix.com」からのメールを許可するように受信設定をお願いします。

コメント欄およびメッセージ機能でのご連絡には返信できかねますので、下記の問い合わせ先に直接ご連絡ください。

参加者による、セミナーの静止画/動画撮影，録音は禁止です。

「レコーディング」ボタンで録音することは法律で禁止されています。

当日の発表の音声、スライドの著作権は発表者に帰属します。

◎当日ご参加に必要なもの

視聴用のパソコン＊必須

スピーカーとマイク（質問をする際に必要となります）

有線または無線ブロードバンドのインターネット接続＊必須

※必ず前日までに機材の事前準備と動作確認をした上でご参加下さい。

Zoomで参加の際には、参加者氏名、会社名（勤務先名、学校名）を表示いただきます。

【問合せ先】

〒162-0814　東京都新宿区新小川町4番1号 KDX飯田橋スクエア2階

日本機械学会（担当職員　中嶋 勇輝）

電話03-4335-7614

E-mail: [y.nakajima@jsme.or.jp](mailto:y.nakajima@jsme.or.jp)

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★***Link***インフルエンザの発生状況**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html>

**★***Link***インフルエンザに関する報道発表資料 2022/2023シーズン**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou_00010.html>

**★***Link***インフルエンザ流行状況レベルマップ**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/tokuteisessyu_iryou_00003.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人) <https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**■***NEW***令和４年度「職場における化学物質規制の理解促進のための意見交換会」 （リスクコミュニケーション）の開催について　2023/1/12**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30189.html>

**■***NEW***「エボラ出血熱について」のホームページを更新しました　2023/1/11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708.html>

**■***NEW***第103回コーデックス連絡協議会(開催案内)　2023/1/10**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29537.html>

　　厚生労働省、消費者庁及び農林水産省は、令和5年1月31日 （火） に、コーデックス委員会における活動状況の報告と検討議題に関する意見交換を行うため、「第103回 コーデックス連絡協議会」を開催します。なお、今回は、ウェブ上での傍聴を受け付けます。

記

1 開催概要

(1) 厚生労働省、消費者庁及び農林水産省は、コーデックス委員会（※）の活動及び同委員会での我が国の活動状況を、消費者をはじめとする関係者に対して情報提供するとともに、検討議題に関する意見交換を行うため、コーデックス連絡協議会を開催しています。コーデックス連絡協議会の委員、活動内容等は、以下のURL ページに掲載しています。

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/codex/index_00001.html>

消費者庁

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_001/>

農林水産省

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/codex/index.html](%20https:/www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/codex/index.html)

(2) 今回は、令和5年2月に開催される第26回食品残留動物用医薬品部会 （CCRVDF) 及び令和5年3月に開催される第43回栄養・特殊用途食品部会（CCNFSDU) の主な検討議題の説明を行い、令和4年11月から12月にかけて開催された第45回総会（CAC) 及び第53回食品衛生部会 (CCFH) の報告を行い、意見交換を行うこととしています。

※ コーデックス委員会（Codex Alimentarius Commission）は、1963 年にFAO（国連食糧農業機関）とWHO（世界保健機関）が合同で設立した政府間組織です。消費者の健康を保護し、公正な食品貿易を保証するために、国際標準となる食品の規格（コーデックス規格）や基準・ガイドラインなどを定めています。

2 開催日時

日時：令和5 年1 月31 日（火曜日） 13 時30分～16 時

開催形式：ハイブリッド

・委員はAP虎ノ門 Bルーム（東京都港区西新橋 1-6-15 ） またはウェブにて参加

　　　　 ・傍聴はウェブのみ

3 議題

（１）コーデックス委員会の活動状況

ア 今後の活動について

・第26回食品残留動物用医薬品部会（CCRVDF)

・第43回栄養・特殊用途食品部会（CCNFSDU）

イ 最近コーデックス委員会で検討された議題について

・第45回総会（CAC)

・第53回食品衛生部会 (CCFH)

（２）その他

これまでの当会議の議事概要等は以下の URL ページで御覧になれます。 また、今回の会議資料は、令和5年 1 月27 日（金曜日） までに厚生労働省のURLページに掲載するとともに、会議終了後に3省庁のURL ページで公開することとしております。

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/codex/index_00001.html>

消費者庁

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_001/>

農林水産省

[https://www.maff.go.jp/j/study/codex/index.html](%20https:/www.maff.go.jp/j/study/codex/index.html)

4 傍聴可能人数　 100 名程度

5 傍聴申込要領

（１）申込方法

電子メールにて、以下のお申込先に、｢第103回コーデックス連絡協議会｣ の傍聴を希望する旨、御氏名（フリガナ）、御連絡先 （電話番号、電子メールアドレス） 、勤務先・所属団体等を明記の上、お申込み下さい。（電話でのお申込みは御遠慮願います。 また、消費者庁 食品表示企画課及び農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課ではお申込みをお受けできません。）

＜電子メールによるお申込先＞

厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全企画課 宛て

電子メールアドレス：[codexccp@mhlw.go.jp](mailto:codexccp@mhlw.go.jp)

（２）申込締切等　令和5年1 月24日（火）17 時必着です。

希望者多数の場合には、各社・各団体から1名までとさせていただきます。その上で、定員に達した場合は締め切らせていただきます。

傍聴の可否については、1 月25 日（水）までに御連絡します。

（３）傍聴される皆様への留意事項

次の留意事項を遵守してください。これらを守られない場合は、今回および今後の傍聴をお断りすることがあります。

・ウェブ会議を撮影、録画・録音をしないこと

・ウェブ会議用の URL を転送したり SNS で公開したりしないこと

・その他、事務局職員の指示に従ってください。

（４） その他

・傍聴等に係るインターネット通信料は、参加者の負担となります。

・安定したネットワーク環境の利用を推奨します。

・ネットワークの回線状況や Wi-Fi 環境により動作に支障が出る場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

・お申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、御本人への連絡を行う場合に限り利用させていただきます。

お問い合わせ先

厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生･食品安全企画課

担当者：国際食品室 佐々木、海老名

代表：03-5253-1111（内線2405）FAX：03-3503-7965

消費者庁 食品表示企画課　担当者：宗、横田、名達

代表：03-3507-8800 (内線2316)FAX:03-3507-9292

農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課　担当者：国際基準室 織戸、堀米、押川

代表：03-3502-8111 (内線4471)ダイヤルイン：03-3502ｰ8732

FAX:03-3507-4232

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１３２２報）　2023/1/10**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30047.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　　　※ 基準値超過　８件

　　　No. 39 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 110 Bq / kg )　塙町

　　　No. 40 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 220 Bq / kg )　相馬市

　　　No. 41 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 260 Bq / kg )　古殿町

　　　No. 43 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 120 Bq / kg )　福島市

　　　No. 44 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 230 Bq / kg )　福島市

　　　No. 49 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 170 Bq / kg )　石川町

　　　No. 52 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 460 Bq / kg )　福島市

　　　No. 53 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 500 Bq / kg )　福島市

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.mhlw.go.jp%2Fcontent%2F11135000%2F001030127.xlsx&wdOrigin=BROWSELINK>

**■化学物質による労働災害防止のための新たな規制について**

**～労働安全衛生規則等の一部を改正する省令（令和４年厚生労働省令第91号（令和４年５月31日公布））等の内容～　2022/12/27**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000099121_00005.html>

新たな規制の概要

　厚生労働省は、化学物質による労働災害を防止するため、労働安全衛生規則等の一部を改正しました。

　化学物質による休業４日以上の労働災害（がん等の遅発性疾病を除く。）の原因となった化学物質の多くは、化学物質関係の特別規則※の規制の対象外となっています。本改正は、これら規制の対象外であった有害な化学物質を主な対象として、国によるばく露の上限となる基準の策定、危険性・有害性情報の伝達の整備拡充等を前提として、事業者が、リスクアセスメントの結果に基づき、ばく露防止のための措置を適切に実施する制度を導入するものです。

　※ 特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則、鉛中毒予防規則、四アルキル鉛中毒予防規則

ダイアグラム が含まれている画像

自動的に生成された説明

本改正の主なポイント

１．労働安全衛生規則関係

（１）リスクアセスメントが義務付けられている化学物質（以下「リスクアセスメント対象物」という。）の製造、取扱い又は譲渡提供を行う事業場ごとに、化学物質管理者を選任し、化学物質の管理に係る技術的事項を担当させる等の事業場における化学物質に関する管理体制の強化

（２）化学物質のＳＤＳ（安全データシート）等による情報伝達について、通知事項である「人体に及ぼす作用」の内容の定期的な確認・見直しや、通知事項の拡充等による化学物質の危険性・有害性に関する情報の伝達の強化

（３）事業者が自ら選択して講ずるばく露措置により、労働者がリスクアセスメント対象物にばく露される程度を最小限度にすること（加えて、一部物質については厚生労働大臣が定める濃度基準以下とすること）や、皮膚又は眼に障害を与える化学物質を取り扱う際に労働者に適切な保護具を使用させること等の化学物質の自律的な管理体制の整備

（４）衛生委員会において化学物質の自律的な管理の実施状況の調査審議を行うことを義務付ける等の化学物質の管理状況に関する労使等のモニタリングの強化

（５）雇入れ時等の教育について、特定の業種で一部免除が認められていた教育項目について、全業種での実施を義務とする（教育の対象業種の拡大／教育の拡充）を全業種に拡大

２．有機溶剤中毒予防規則、鉛中毒予防規則、四アルキル鉛中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則、粉じん障害防止規則関係

（１）化学物質管理の水準が一定以上の事業場に対する個別規制の適用除外

（２）作業環境測定結果が第三管理区分の事業場に対する作業環境の改善措置の強化

（３）作業環境管理やばく露防止対策等が適切に実施されている場合における有機溶剤、鉛、四アルキル鉛、特定化学物質（特別管理物質等を除く。）に関する特殊健康診断の実施頻度の緩和

３．施行日　公布日（一部令和５年４月１日又は令和６年４月1日施行）

本改正の概要

PDF 労働安全衛生法の新たな化学物質規制 [PDF：1,926KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/000987253.pdf>

以下省略

**■食品に関するリスクコミュニケーション「輸入食品の安全性確保に関する意見交換会」を開催します　2022/12/23**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/1111212865_00033.html>

　～１月31日に東京、２月３日に大阪で開催。参加者募集を開始～

　厚生労働省は、食品に関するリスクコミュニケーション「輸入食品の安全性確保に関する意見交換会」を、１月31日（火）に東京で、２月３日（金）に大阪で開催します（事前申込制、参加無料）。このたび、本意見交換会への参加者を募集します。

　今回の意見交換会では、輸入食品の安全性確保に関する取り組みとして、令和５年度の輸入食品監視指導計画（案）や輸入食品監視指導計画に基づく輸入時対応などについて、行政が情報提供を行うとともに、輸入食品の安全性確保に関する自身の取り組みについて食品関係事業者が講演を行います。その後、消費者、事業者、行政と参加者との間で輸入食品の安全性確保の取り組みについて意見交換をします。

　本会の概要や申し込み方法については、次項をご参照ください。

＜参考＞

　　厚生労働省では、輸入食品の安全性を確保するため、毎年度「輸入食品監視指導計画」を定め、輸出国での衛生対策の推進や輸入時の検査などの監視指導に取り組んでいます。また、消費者、事業者、行政の３者が集まり、輸入食品の安全性確保に関する情報・意見交換を通じて、相互理解を目指すための活動を毎年行っています（食品に関するリスクコミュニケーション）。

**■輸入食品監視業務**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/yunyu_kanshi/index.html>

　別紙１　開催案内チラシ（東京会場）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11131500/001028518.pdf>

別紙２　開催案内チラシ（大阪会場）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11131500/001028519.pdf>

　１　開催概要

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

<http://www.civi-c.co.jp/access_t.html#nihonbashi>

<http://www.civi-c.co.jp/access.html#kita>

　２　主催　厚生労働省

３　募集人数

　東京会場　170人（先着順）

　　大阪会場　100人（先着順）

　４　プログラム内容（各会場共通）

（１）情報提供・講演

１．「輸入食品の安全性確保について（令和５年度輸入食品監視指導計画（案））」

＜東京会場＞

厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品監視安全課 輸入食品安全対策室　室長 森田 剛史

＜大阪会場＞

厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品監視安全課 輸入食品安全対策室　室長補佐 松井 保喜

２．「輸入食品の安全性確保について（輸入食品監視指導計画に基づく輸入時対応）」

厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品監視安全課 輸入食品安全対策室

輸出国査察専門官 白坂 信和

３．「輸入食品の安全・安心にかかる事業者の取り組みについて」

株式会社ニッスイ 品質保証部　部長 中井 清典 氏

（２）意見交換

ファシリテーター

公益社団法人　日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

専門委員　　蒲生　恵美　氏

登壇者　上記情報提供・講演者の３人

５　参加申込要領

（１）申し込み方法

　参加をご希望される方は、インターネット、電子メール、FAXのいずれかの方法でお申し込みください。幅広い参加者を募る観点から、同一団体からの複数名の参加はご遠慮いただく場合があります。

グラフィカル ユーザー インターフェイス

自動的に生成された説明

<https://onl.bz/MgGtZn1>

<https://onl.bz/e8X5hM4>

[forum@intergroup.co.jp](mailto:forum@intergroup.co.jp)

　　・電話でのお申し込みは受け付けておりません。

・規定人数に達した場合、申し込み締切日より前に募集を締め切ることがありますので、あらかじめご了承ください。

・お申し込みによって得た個人情報は厳重に管理し、参加確認に関する問い合わせなど、ご本人への連絡を行う場合に限り利用します。

（２）留意事項

　１．参加の可否：

・開催日前日までにお申し込みいただいた方法（電子メールまたはFAX）でご連絡します（FAXで申し込む場合、必ず返信用のFAX番号をご記入ください）。

・参加可能な方にのみ「参加証」をお送りします。「参加証」は、当日ご持参いただくか、携帯電話などの端末に画面表示させる形でご用意ください。

　２．公開の原則：

・本会は公開ですので、発言者、参加者の写真や映像が報道・配信される可能性があることをあらかじめご了承ください。

・意見交換会の内容（配付資料、議事録など）は、終了後に厚生労働省のウェブページで公表する予定です。なお、希望されない方にあっては個人が特定できないように配慮します。

　３．留意事項：

・意見交換会への参加にあたっては、次の留意事項を遵守してください。これらを守っていただけない場合は、参加をお断りする場合があります。

・携帯電話などの電源はお切りいただくか、マナーモードに設定ください。

・意見交換会の開催中は、静粛を旨とし、以下の行為を慎んでください。

(ア) 発言者の発言に対する賛否の表明または拍手

(イ) 意見交換時における長時間の発言

(ウ) 開催中の入退室（ただし、やむを得ない場合を除く）

(エ) 会場でのカメラ、ビデオ、ICレコーダーなどを使った録音や録音機器の使用（報道関係者を除く）

(オ) 飲食（お茶などを除く）、喫煙

・銃砲刀剣類その他危険なものを会場に持ち込まないでください。

・会場参加における新型コロナウイルス感染症対策について

(ア) 来場の際はマスクを着用してください

(イ) 当日体調不良や、発熱等の風邪症状がある場合は、参加を控えてください

(ウ) 着席位置等は職員の指示に従ってください

・その他、事務局職員の指示に従ってください。

６　報道関係者の皆さまへ

　今回の意見交換会は公開ですが、写真や動画撮影は冒頭のみとさせていただきます。取材を希望される方には、別途席をご用意しますので、申込締切日までに、「５ 参加申込要領」に従い、お申し込みください。お申込みの際、報道関係者である旨を必ず明記してください。

　また、開催日当日は受付で名刺をお渡しください。

申込に関する問い合わせ先

「食品に関するリスクコミュニケーション」運営事務局（委託先）　担当：寺山、篠原

　E-mail：[forum@intergroup.co.jp](mailto:forum@intergroup.co.jp)

**■フィンランド産牛肉等の輸入手続を再開します　2022/12/23**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29695.html>

　　フィンランド産牛肉等について、フィンランド政府との協議等が完了したので、本日付けで、輸入手続を再開することとしました。

１．経緯

　ＢＳＥ発生国であるフィンランドの牛肉、牛臓器及びこれらを原材料とする牛肉加工品については、平成13年２月から輸入手続を停止していましたが、令和２年５月に食品安全委員会に輸入再開のための輸入条件について諮問し、令和２年12月に同委員会より食品健康影響評価結果が通知されました。

　　厚生労働省では、この評価結果を踏まえ、フィンランド政府との対日輸出条件に係る協議や現地の状況調査等を進めてきましたが、これらの手続きが完了したため、今般、フィンランド産牛肉、牛臓器及びこれらを原材料とする牛肉加工品の輸入手続を再開することとしました。

２．対日輸出条件

〇 対日輸出が認められない部位の範囲は、全月齢の扁桃及び回腸（盲腸との接続部分から２メートルの部分に限る。）並びに30か月齢超の頭部（舌、頬肉、皮及び扁桃を除く。）、脊髄及び脊柱とする。

注）上記の条件については、アイルランド、カナダ、米国、フランス及びデンマークと同様のものです。

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.1/ 2023（2023.1.6）　2023/1/6**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202301m.pdf>

**目次**

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. アルファルファスプラウトに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ

（Salmonella Typhimurium）感染アウトブレイク（2022 年 12 月 30 日付初発情報）

2. テキサス州産の生牡蠣に関連して複数州にわたり発生しているノロウイルス感染アウトブレイク（2022 年 12 月 21 日付更新情報）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【Eurosurveillance】**

1. オランダおよびベルギーにおけるヒトのサルモネラ（Salmonella Enteritidis）感染に関する 2006～2019 年の疫学的状況の変化：登録にもとづく住民調査

**【英国食品基準庁（UK FSA）】**

1. 食品衛生ランク付け方式（FHRS：Food Hygiene Rating Scheme）のデータへのアク　セス方法を変更

**【ProMED-mail】**

1.コレラ、下痢、赤痢最新情報（36）（35）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.1/ 2023（2023.１.6）　2023/1/6**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202301c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【WHO】**

１．全ての人に安全な飲料水と衛生を確保するには行動加速が必要

**【FAO】**

１．Codex

**【EC】**

１．SCCS（消費者安全に関する科学委員会）

２．SCHEER（環境及び新興リスクに関する科学委員会）

３．健康・食品査察・解析－2023 計画発表

４．食品及び飼料に関する緊急警告システム（RASFF）

**【EFSA】**

１．ベイジアンベンチマーク用量解析のための EFSA のプラットフォーム

２．全国食事調査の方法論とツールに関する文献レビュー；ERA EU-Menu プロジェクトの

結果

３．EFSA 第 26 回科学討論会：食品由来の栄養素と汚染物質への複合暴露のリスク－ベネ

フィット評価

４．食品中及び食品上に使用される香料のリスク評価に必要なデータに関する科学的ガイダン

　　ス

５．食品酵素関連

６．新規食品関連

７．遺伝子組換え関連

８．食品接触物質関連

９．農薬関連

１０．飼料添加物関連

１１．YouTube 動画

【FSA】

１．FY2 Wave 3-4 NI（Food You 2 北アイルランド第 3-4 回）: 要約

２．食品衛生格付け方式、表示の監査及び事業調査 2021：テクニカルレポート

**【FSAI】**

１．リコール情報

**【BfR】**

１．プレゼントや豆電球：ボタン電池は小さな子供が飲み込むと深刻な健康被害をもたらす可

能性がある

２．欧州における食品安全：リスク評価における協力と若い才能の支援

３．「Bovine Meat and Milk Factors: BMMF」に関する新たな知見

**【RIVM】**

１．薬物廃棄物の飲料水質に与える影響にもっと注目が必要

２．建材の再利用の土壌の質への影響

３．ZZS を含む農薬の研究

**【ANSES】**

１．フランス領カリブ海のクロルデコン：食事暴露を低減する効果的な対策がある

２．ANSES の食品中のナノマテリアルのリスク評価手法を初めて適食品安全情報（化学物質

）No. 1/ 2023（2023. 01. 06）

**【FDA】**

１．ホメオパシー製品

２．FDA はヨーグルトの同定基準を改定

３．FDA は蜂蜜の経済的な動機による異物混入に関するデータを発表

４．第 8 回全国消費者食品安全教育会議の登録が開始された

５．2023 年 1 月 1 日に VQIP 申請を開始する

６．FDA が GRAS パネル招集のためのベストプラクティスに関する最終ガイダンスを発行

７．警告文書

８．リコール情報

**【NTP】**

１．ニュースレター

**【EPA】**

１．EPA は新規化学物質審査プログラムのウェブページ、指標を更新、透明性向上に努める

２．EPA は IRIS ハンドブックとパーフルオロブタン酸とその関連塩の最終 IRIS 評価を発表

**【USDA】**

１．APHIS は規制状況レビュー回答を発表：ZeaKal, Inc.,の大豆とサントリーの菊

２．食品表示規則の統一遵守日(2022)

３．情報提供のお願い：バイオテクノロジー規制のための調整された枠組みにおける曖昧さ、

ギャップ、不確実性の特定

４．APHIS は最終規則状況レビューガイドを公表する

５．Pesticide Data Program (PDP) 2021 年次サマリー

６．USDA は遺伝子組換えを用いて開発したアメリカグリの規制解除のための環境文書への

パブリックコメント期間を延長する

【NIH】

１．ニュースレター2022 年冬号

**【Health Canada】**

１．ヘルスカナダはカナダの大麻使用に関する新しいデータを公表

２．未承認の製品は深刻な健康リスクを引き起こす可能性がある

３．非処方医薬品行動計画

４．リコール情報

**【CFIA】**

１．選択した缶入り食品中のビスフェノール A と BPA 代替品―2020 年 4 月 1 日～

2021 年3 月 21 日

２．リコール情報

**【FSANZ】**

１．食品基準通知

２．食品基準ニュース

**【MPI】**

１．小さな捕食寄生性狩り蜂がヤナギコブオオアブラムシとの戦いに強烈なパンチ

２．リコール情報

**【香港政府ニュース】**

１．違反情報

**【MFDS】**

１．日本産輸入食品の放射能検査の結果

２．ワインのカロリーとチーズの無加塩表示、購入時に確認してください

３．2023 年に変わる法令・制度など輸入食品安全管理政策を案内

４．食品に使用できない原料で液状茶などの食品を製造して高額で販売した業者を摘発・措置

５．EU、韓国産フードサプリメントに対する輸入強化措置を撤回

６．回収措置

**【SFA】**

１．ゾウムシは米と一緒に食べて安全か？

２．移動する食品安全

３．マレーシア産小白菜の輸入制限について

４．リコール情報

**【HSA】**

１．HSA 警告：屋台で販売された発疹用クリームを使用した子供が重篤な有害影響を経験

した

**【その他】**

 食品安全関係情報（食品安全委員会）から

 ProMED-mail 5 件

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.1/ 2023（2023.１.6）別添　2023/1/6**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202301ca.pdf>

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第885回）の開催について　2023/1/12**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和5年1月17日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３． 議事

（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

・動物用医薬品 １品目（農林水産省からの説明）

馬鼻肺炎生ワクチン（エクエヌテクトERP）

・遺伝子組換え食品等 ３品目（厚生労働省からの説明）

Geobacillus stearothermophilus TP7株を使用して生産されたプロテアーゼ

Trichoderma reesei RF6197株を使用して生産されたペクチナーゼ

Trichoderma reesei RF6201株を使用して生産されたペクチナーゼ

（２）農薬第一専門調査会における審議結果について

・「フェナミホス」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（３）農薬第五専門調査会における審議結果について

・「酸化亜鉛」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（４）動物用医薬品専門調査会における審議結果について

・「シフェノトリン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

・「d・d-T-シフェノトリンを有効成分とする豚舎噴霧剤（カーボジェット、ファームクリン）」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（５）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

・農薬「ピジフルメトフェン」に係る食品健康影響評価について

・農薬「ピリベンカルブ」に係る食品健康影響評価について

・飼料添加物「ギ酸を有効成分とする飼料添加物（水酸化ナトリウム混和製剤）」に係る食品健康影響評価について

（６）その他

４．動画視聴について

：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、1月16日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、1月17日（日）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年12月10日から令和4年12月23日）2023/1/12**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=12&from_day=10&to=struct&to_year=2022&to_month=12&to_day=23&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***沖縄県金武町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内37例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/12**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230112.html>

　　沖縄県は、同県金武町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内37例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月12日（木曜日）午前0時（1月11日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）沖縄県は、令和4年12月16日に同県金武町の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内37例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）沖縄県は、令和5年1月1日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、沖縄県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月21日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月12日（木曜日）午前0時（1月11日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***千葉県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内53例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/1/11**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230111.html>

　千葉県旭市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内53例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）千葉県旭市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内53例目、1月3日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***新潟県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内55例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/1/11**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230111_3.html>

　　新潟県村上市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内55例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）新潟県村上市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内55例目、1月6日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***福岡県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内54例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/1/11**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230111_4.html>

　　福岡県古賀市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内54例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）福岡県古賀市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内54例目、1月3日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***鹿児島県南九州市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内39例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/11**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230111_5.html>

　　鹿児島県は、同県南九州市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内39例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月11日（水曜日）午前0時（1月10日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）鹿児島県は、令和4年12月18日に同県南九州市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内39例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）鹿児島県は、令和5年1月5日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、鹿児島県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月20日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月11日（水曜日）午前0時（1月10日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***広島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/1/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230110_3.html>

　本日（1月10日（火曜日））、広島県三次市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内58例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：広島県三次市

飼養状況：約83.5万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月9日（月曜日））、広島県は、同県三次市の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月10日（火曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***群馬県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内52例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/1/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230110.html>

　　群馬県前橋市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内52例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）群馬県前橋市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内52例目、1月1日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***宮崎県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/1/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230110_2.html>

　本日（1月10日（火曜日））、宮崎県川南町の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内57例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：宮崎県川南町

飼養状況：約10万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月9日（月曜日））、宮崎県は、同県川南町の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月10日（火曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***茨城県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/1/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230109.html>

　　本日（1月9日（月曜日））、茨城県城里町の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内56例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：茨城県城里町

飼養状況：約93万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月8日（日曜日））、茨城県は、同県城里町の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月9日（月曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***埼玉県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内50例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/1/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230106_1.html>

　　埼玉県狭山市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内50例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）埼玉県狭山市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内50例目、12月30日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***広島県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内49例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/1/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230106.html>

　　広島県世羅町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内49例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）広島県世羅町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内49例目、12月27日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***広島県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内51例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/1/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230106_2.html>

　　広島県世羅町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内51例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）広島県世羅町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内51例目、12月30日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***愛知県豊橋市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内25例目及び31例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230106_5.html>

　　愛知県は、同県豊橋市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内25例目及び31例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月6日（金曜日）午前0時（1月5日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました

1.経緯及び今後の予定

（1）愛知県は、令和4年12月5日及び12月8日に同県豊橋市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内25例目及び31例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）愛知県は、令和4年12月31日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、愛知県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月15日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月6日（金曜日）午前0時（1月5日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***香川県三豊市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内33例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230106_6.html>

　　香川県は、同県三豊市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内33例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月6日（金曜日）午前0時（1月5日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）香川県は、令和4年12月11日に同県三豊市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内33例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）香川県は、令和4年12月31日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、香川県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月15日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月6日（金曜日）午前0時（1月5日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***鹿児島県出水市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内10・17・19・23・24・30・32・34例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230106_4.html>

　　鹿児島県は、同県出水市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内10・17・19・23・24・30・32・34例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月6日（金曜日）午前0時（1月5日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）鹿児島県は、令和4年11月18日、24日、27日、12月2日、4日、8日、9日、11日に同県出水市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内10・17・19・23・24・30・32・34例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）鹿児島県は、令和4年12月31日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、鹿児島県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月15日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月6日（金曜日）午前0時（1月5日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***新潟県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/1/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230106_3.html>

　　本日（1月6日（金曜日））、新潟県村上市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内55例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：新潟県村上市

飼養状況：約130万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月5日（木曜日））、新潟県は、同県村上市の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月6日（金曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■2022年農業技術10大ニュースの選定について　2022/12/26**

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/221226.html>

　「2022年農業技術10大ニュース」を選定しました。

1.「農業技術10大ニュース」の選定について

この1年間に新聞記事となった民間企業、大学、公立試験研究機関及び国立研究開発法人の農林水産研究成果のうち、内容に優れるとともに社会的関心が高いと考えられる成果10課題を農業技術クラブ（農業関係専門紙・誌など30社加盟）の加盟会員による投票を得て選定しました

2.選定結果について

選定した「2022年農業技術10大ニュース」は、次のとおりです。

**TOPIC1**

**メタンの産生が少ない牛に特徴的な新種の細菌を発見　－げっぷ由来メタンの排出削減に期待－**

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」という。）は、メタン産生量の少ない乳用牛の第一胃から、牛の栄養となるプロピオン酸を多く産生し、メタン産生の抑制につながる新種の細菌の分離に成功しました。今後、本菌を生菌剤として活用することで、牛のげっぷ由来メタンの排出削減と飼料利用性の改善に貢献すると期待されます。

**TOPIC2**

**植物性プラスチックのリサイクルで肥料を製造　－再利用工程で発生する尿素を肥料として有効活用－**

東京工業大学、東京大学、京都大学は、植物性プラスチックをアンモニア水で処理することにより、植物由来原料と尿素に分解するリサイクルシステムを開発。プラスチックのリサイクルと同時に、副生する肥料成分を植物に供給する資源循環システムの実現が期待されます。

**TOPIC3**

**豚熱とアフリカ豚熱を迅速・同時に判別！　－検査効率の大幅な向上で防疫に貢献－**

農研機構とタカラバイオ株式会社は、豚熱ウイルスとアフリカ豚熱ウイルスを1回の検査で迅速（2時間以内）に検出・判別可能なリアルタイムPCR法を開発。都道府県が実施する豚熱の迅速な診断・防疫措置や、わが国への侵入が警戒されるアフリカ豚熱の監視強化への貢献が期待されます。

**TOPIC4**

**土壌病害診断AIアプリを開発　－圃場ごとの発生しやすさに応じた対策法を提示－**

農研機構、株式会社システム計画研究所／ISP等の土壌病害AI診断コンソーシアムは、土壌分析や栽培状況等を基に、圃場の土壌病害の発生しやすさを診断し、診断結果に応じた対策法を提示するウェブアプリ「HeSo+(ヘソプラス)」を開発。必要な圃場にのみ土壌消毒剤を使用することにより、消毒剤の使用量が削減され、生産者の収益性向上と環境負荷低減が期待されます。

**TOPIC5**

**新たな道を切り開く「みちしずく」　－基腐病に強く、多収の焼酎・でん粉原料用かんしょ新品種を育成－**

農研機構は、基腐病に強く多収の焼酎・でん粉原料用かんしょの新品種「みちしずく」を育成焼酎原料用品種の「コガネセンガン」に、焼酎にした時の酒質（香りと味）が似ています。現在種芋の供給は限られていますが、南九州のかんしょ産地への普及に向けて種芋を増殖中です。

**TOPIC6**

**振動でトマト害虫を防除　－コナジラミ類の発生抑制・トマトの授粉促進による安定生産へ－**

電気通信大学等の振動農業技術コンソーシアムは、トマトの株に振動を与えて害虫のコナジラミ類を防除する技術を開発。振動には害虫の発生抑制に加えて、トマトの授粉を促進する効果。トマトの化学農薬の低減とともに、安定生産への貢献が期待されます。

**TOPIC7**

**ウンカ発生調査　AIで大幅時短　－目視では1時間以上の調査時間を3～4分に短縮－**

農研機構は、水稲の主要害虫であるイネウンカ類の発生調査にかかる時間を大幅に短縮できる技術を開発。人工知能（AI）を活用し、目視では1時間以上かかることもある害虫の判別・計数作業を3～4分に短縮。害虫の的確な防除や被害発生の予測に貢献することが期待されます。

**TOPIC8**

**超音波を活用したヤガ類の防除技術を確立　－開発した装置で農薬散布回数9割減－**

農研機構、株式会社メムス・コア、京都府農林水産技術センターは、幅広い作物を食害する害虫のヤガ類を超音波で追い払う装置を開発し、防除技術として確立。天敵であるコウモリの出す超音波を聞くと、ヤガ類が逃げ出す性質を利用した技術であり、減農薬栽培の推進に貢献することが期待されます。

**TOPIC9**

**リンゴ黒星病の発生低減に貢献　－リンゴの落葉収集機で効率よく9割除去－**

農研機構、株式会社オーレック、地方独立行政法人青森県産業技術センターは、リンゴ黒星病の発生源となる落葉の収集機を開発。手作業の約30倍の作業能率で落葉を収集し、雪解け後の地面に張り付いた落葉に対し8～9割の除去率を達成。2022年3月に市販開始。

**TOPIC10**

**急傾斜45度対応のリモコン草刈機　－強く、早く、小さい！中山間でも安全作業－**

株式会社IHIアグリテック、農研機構、福島県農業総合センターは、リモコン操作で45度の傾斜地でも作業でき、国産の小型機種として初めてハンマーナイフ式を採用した草刈機を開発。茎が太く1mを超える雑草等にも対応可能で、平地、傾斜地ともに既存の小型草刈機の50%程度に作業時間を短縮。2022年6月に市販開始。

これまでの成果は以下のURLで紹介しています。

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/10topics.htm>

添付資料

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 1)(PDF : 678KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-7.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 2)(PDF : 441KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-10.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 3)(PDF : 483KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-8.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 4)(PDF : 674KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-3.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 5)(PDF : 498KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-2.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 6)(PDF : 781KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-9.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 7)(PDF : 1,050KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-4.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 8)(PDF : 1,222KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-1.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 9)(PDF : 693KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-5.pdf>

2022年農業技術10大ニュース(TOPIC 10)(PDF : 769KB)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-6.pdf>

お問合せ先

農林水産技術会議事務局研究企画課　担当者：中島、井戸原

代表：03-3502-8111（内線5847）　ダイヤルイン：03-3502-7407

**■国内産農産物における農薬の使用状況及び残留状況調査の結果について（令和2年度及び令和3年度）　2022/12/23**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/221223.html>

農林水産省は、農薬の適正使用を推進し、安全な農作物の生産に資すること等を目的として、農家における農薬の使用状況及び生産段階における農産物中の農薬の残留状況について調査を実施しています。この度、令和2年度及び令和3年度の国内産農産物における農薬の使用状況及び残留状況について取りまとめましたのでお知らせします。

1.調査結果

1.農薬の使用状況について

871戸（令和2年度393戸、令和3年度478戸）の農家に対し、記入簿への記入又は聴取りを行うことで農薬の使用状況を調査しました。

　その結果、調査した農家（871戸）のうち、2戸の農家で、使用量又は希釈倍数が適切でなかった事例が確認されました。残りの869戸においては、農薬が適正に使用されていたことが確認されました。

農薬の不適正な使用があった2戸の農家に対しては、地方農政局及び都道府県から、農薬の適正使用の徹底を図るよう指導を行いました。

表1：令和2年度及び令和3年度の農薬の使用状況に関する調査結果

ホワイトボード

中程度の精度で自動的に生成された説明

2.農薬の残留状況について

871検体（令和2年度393検体、令和3年度478検体）の農産物について、のべ4,436種類の農薬と作物の組合せの残留状況を調査しました。

その結果、令和2年度には食品衛生法（昭和22年法律第233号）に基づく残留基準値を超える農薬を含んだ検体はありませんでした。令和3年度には、農薬の不適正な使用があった農家における検体とは異なる1検体が、残留基準値を超える農薬を含んでおり、その他の検体は、残留基準値を超えていませんでした。

この1検体は、はくさいで、残留基準値（0.2 mg/kg）を超える農薬のアセフェート（0.3 mg/kg）が検出されました。当該はくさいを栽培した農家をさらに調査しましたが、基準値超過の明確な原因は特定できませんでした。

なお、当該農作物を通常想定される量摂取した際の農薬の摂取量は、健康に悪影響を示さないと推定される摂取量と比べ小さいことから、健康に影響を及ぼすおそれはありません。

表2：令和2年度及び令和3年度の農薬の残留状況に関する調査結果

テーブル

自動的に生成された説明

2.調査結果を受けた対応

1. 農薬の不適正な使用が認められた農家に対して、地方農政局及び都道府県から農薬の適正使用の徹底を図るよう指導を実施しました。

2. 農薬の適正使用を推進するため、令和4年度も同様の調査を実施しています。

<添付資料>

（別添）国内産農産物における農薬の使用状況及び残留状況調査の結果の概要（令和2年度及び令和3年度）(PDF : 197KB)

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_monitor/attach/pdf/r2_r3-5.pdf>

（別表1）使用状況調査の結果（令和2年度及び令和3年度）(PDF : 131KB)

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_monitor/attach/pdf/r2_r3-1.pdf>

（別表2）分析の対象とした農薬及びその定量限界（令和2年度及び令和3年度）(PDF : 230KB)

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_monitor/attach/pdf/r2_r3-4.pdf>

（別表3）定量限界以上の濃度が検出された検体に関する残留状況調査の結果（令和2年度及び令和3年度）(PDF : 218KB)

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_monitor/attach/pdf/r2_r3-2.pdf>

（別表4）農産物別の残留状況調査の結果（令和2年度及び令和3年度）(PDF : 206KB)

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_monitor/attach/pdf/r2_r3-3.pdf>

お問合せ先

消費・安全局農産安全管理課農薬対策室　担当者：濵砂、伊藤

代表：03-3502-8111（内線4500）ダイヤルイン：03-3501-3965

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■消費者契約法及び独立行政法人国民生活センター法の一部を改正する法律(令和4年法律第99号)等について　2023/1/4**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_system/consumer_contract_act/2022_contents_002/>

**■不当景品類及び不当表示防止法施行規則の一部を改正する内閣府令(案)に関する意見募集について　2023/1/4**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/031674/>

　令和5年1月4日(水)から同年2月3日(金)まで(郵送の場合は同日必着)

**■第9回 景品表示法検討会(2022年11月30日)　2022/12/28**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/meeting_materials/review_meeting_004/030951.html>

**■年末年始に増加する高齢者の事故に注意しましょう! - 浴室での溺水事故、餅による窒息事故、掃除中・除雪中の転倒・転落事故等に注意 –　2022/12/27**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/index.html>

　　年末年始は寒さに加えて家族の帰省や会食、大掃除など普段と異なった行動をすることが多い時期です。そのような中、高齢者にとっては加齢に伴う身体機能や認知機能の低下、病気や薬の影響などの要因によって思いがけない事故が発生しています。

消費者庁では、年末年始など冬のこの時期に起こりやすい高齢者の事故を中心に、事故防止の観点からポイントをまとめました。

**浴室での溺水事故 ～冬季になるにつれ発生件数増加～**

**〔事故を防ぐためのポイント〕**

**◆入浴前の注意ポイント**

脱衣所や浴室を暖めましょう。(断熱性の向上と暖房設備の導入を検討も)こまめな水分補給をしましょう。

食後すぐの入浴や、飲酒後、医薬品服用後の入浴は避けましょう。

入浴する前に同居者に一声掛けて、意識してもらいましょう。

**◆入浴時の注意ポイント**

湯温は41度以下、湯につかる時間は10分までを目安にしましょう。

湯温や部屋間の温度差、入浴時間など普段意識しにくい部分について、温度計やタイマーを活用して見える化しましょう。

浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。

浴槽内で意識がもうろうとしたら、気を失う前に湯を抜きましょう。

**餅による窒息 ～死亡事故の4割が1月に、約2割が正月三が日に発生!～**

**〔事故を防ぐためのポイント〕**

餅は、小さく切り、食べやすい大きさにしてください。

飲み物や汁物などを飲み、喉を潤してから食べましょう。

(ただし、よく噛まないうちに飲み物や汁物などで流し込むのは危険です。)

一口の量は無理なく食べられる量にしましょう。

ゆっくりとよく噛んでから飲み込むようにしましょう。

高齢者が餅を食べる際は、周りの方も食事の様子に注意を払い、見守りましょう。

**掃除中・除雪中の転倒・転落事故等 ～冬季に救急搬送が増加～**

**〔事故を防ぐためのポイント〕**

滑りやすい場所で掃除をする際には転倒に注意し、足場が濡れている場合は事前に拭き取りましょう。

年齢や個々の体力を勘案し、無理な作業は控えて整理しましょう。

脚立やはしごを使用した高所作業は極力控え、行う場合は広いステップや上枠が付いた身体のバランスを取りやすい用具を使い、安定した場所で無理なく行いましょう。踏み台等を使っての作業も安定した場所で行いましょう。

除雪作業は無理せず二人以上で。用具の点検と安全対策を確実に行いましょう。

洗剤などの取扱説明、注意表示をよく確認し、正しく使用しましょう。

挿絵 が含まれている画像

自動的に生成された説明

**消費者庁公表資料**

2022年12月27日年末年始に増加する高齢者の事故に注意しましょう!-浴室での溺水事故、餅による窒息事故、掃除中・除雪中の転倒・転落事故等に注意-[PDF: 363KB]

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/assets/consumer_safety_cms205_221227_01.pdf>

別添 高齢者の事故に関するデータとアドバイス等[PDF: 807KB]

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/assets/consumer_safety_cms205_221227_02.pdf>

参考資料1 「寒い家で我慢」は健康上のリスク!―窓から始める断熱リフォーム(東京大学大学院 前真之准教授)[PDF: 2.1MB]

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/assets/consumer_safety_cms205_221227_03.pdf>

参考資料2 省エネリフォーム等に関する国の支援策[PDF: 181KB]

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/assets/consumer_safety_cms205_221227_04.pdf>

チラシ「無理せず対策 高齢者の不慮の事故」[PDF: 937KB]

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/assets/consumer_safety_cms205_221227_05.pdf>

**■第8回消費者法の現状を検証し将来の在り方を考える有識者懇談会(2022年12月27日)　2022/12/27**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_system/meeting_materials/review_meeting_004/031474.html>

**■第7回消費者法の現状を検証し将来の在り方を考える有識者懇談会(2022年12月26日)　2022/12/26**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_system/meeting_materials/review_meeting_004/031473.html>

**■カトラリー、ストロー、カップ等の販売事業者2社に対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/12/23**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/031610/>

　　消費者庁は、令和4年12月19日及び同月21日、カトラリー、ストロー、カップ等の販売事業者2社に対し、2社が供給するカトラリー、ストロー、カップ等に係る表示について、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

* [カトラリー、ストロー、カップ等の販売事業者2社に対する景品表示法に基づく措置命令について[PDF:420.9 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_01.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_01.pdf>

* [別紙1-1ないし別紙1-10[PDF:6.0 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_02.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_02.pdf>

* [別紙2-1ないし別紙2-3[PDF:2.4 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_03.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_03.pdf>

* [参考1及び参考2[PDF:207.2 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_04.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_04.pdf>

* [別添1及び別添2[PDF:331.6 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_05.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_05.pdf>

**■釣り用品の販売事業者に対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/12/23**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/031584/>

　消費者庁は、令和4年12月19日、釣り用品の販売事業者であるマルキユー株式会社に対し、同社が供給する釣り用の疑似餌31商品に係る表示について、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

* [釣り用品の販売事業者に対する景品表示法に基づく措置命令について[PDF:437.0 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_06.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_06.pdf>

* [別紙1ないし別紙10[PDF:5.5 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_07.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_07.pdf>

* [別紙11ないし別紙18[PDF:4.6 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_08.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_08.pdf>

* [別紙19[PDF:6.5 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_09.pdf)

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation\_cms207\_221223\_09.pdf](%20https:/www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_09.pdf)

* [別紙20[PDF:1.3 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_10.pdf)

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation\_cms207\_221223\_10.pdf](%20https:/www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_10.pdf)

* [参考1及び参考2[PDF:215.5 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_11.pdf)

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation\_cms207\_221223\_11.pdf](%20https:/www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_11.pdf)

* [別添[PDF:389.4 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_12.pdf)

[https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation\_cms207\_221223\_12.pdf](%20https:/www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_221223_12.pdf)

**■ゴミ袋及びレジ袋の販売事業者2社に対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/12/23**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/031612/>

　　消費者庁は、令和4年12月20日及び同月21日、ゴミ袋及びレジ袋の販売事業者2社(以下「2社」といいます。)に対し、2社が供給するゴミ袋及びレジ袋に係る表示について、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

* [ゴミ袋及びレジ袋の販売事業者2社に対する景品表示法に基づく措置命令について[PDF:996.8 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_01.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_01.pdf>

* [別紙1-1及び別紙1-2[PDF:2.9 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_02.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_02.pdf>

* [別紙1-3及び別紙1-4[PDF:3.4 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_03.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_03.pdf>

* [別紙1-5及び別紙1-6[PDF:3.5 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_04.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_04.pdf>

* [別紙1-7及び別紙1-8[PDF:2.2 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_05.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_05.pdf>

* [別紙2-1ないし別紙2-3[PDF:3.1 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_06.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_06.pdf>

* [参考1及び参考2[PDF:147.4 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_07.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_07.pdf>

* [別添1[PDF:964.2 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_08.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_08.pdf>

* [別添2[PDF:264.9 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_09.pdf)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_221223_09.pdf>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★高見澤「3種アソートチーズ」 - 返金／回収　賞味期限の表示欠落（本来の賞味期限：23.04.19）　2023/1/12**

**★神戸物産「グレープモラセス」 - 返金／回収　一括表示に記載のない保存料（安息香酸）が検出されたため　2023/1/12**

**★バロー「国内産牛豚ミンチ（牛50%・豚50%・解凍）」 - 返金／回収　青色のビニール片が混入した恐れがあるため　2023/1/11**

**★たかき（フードセンターたかき交り江店）「竹の子土佐煮、お煮しめ」 - 返金／回収　要冷蔵（10度以下）で販売すべきところ常温で販売　2023/1/11**

**★利恵産業「魚介の旨味！パエリアヴァレンシア」 - 返金／回収　アレルゲン「卵、乳成分」の表示欠落、一部の添加物の表示欠落　2023/1/11**

**★ONE HEART「NUKKA smile、佳子さんの熟成糠床」 - 交換／回収　「賞味期限」表示の不備　2023/1/11**

**★祐貴や「ばぁばぁのかしわめし」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2023.7.27、正：2023.2.27）　2023/1/11**

**★みのや総合水産「コガネフグ」 - 回収　有毒部分を除去していないフグを販売　2023/1/10　ニュース＆トピックスにニュース掲載**

**★コープデリフーズ「国産豚挽肉（解凍）、国産牛豚挽肉（解凍）」 - 返金／回収　生産ラインコンベアーベルトの一部が削れ、白いベルト片が混入したおそれがあるため　2023/1/10**

**★よねはくビル「砂糖味かきもち、小鏡餅」 - 返金／回収　カビが発生する可能性があるため　2023/1/10**

**★マツバラ「生小餅」 - 返金／回収　カビの発生　2023/1/10**

**★工房なるこ「黒米もち、もちミックス」 - 返金／回収　カビによる汚染のおそれ　2023/1/10**

**★山口油屋福太郎「めんべい　肉ごぼ天うどん味」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2029.05.29、正：2023.05.29）　2023/1/10**

**★カラミノフーズ「グリーンカレー」 - 返金／回収　アレルゲン「えび」の表示欠落　2023/1/10**

**★カラミノフーズ「グリーンカレー、GREENCURRY&RICE グリーンカレー」 - 返金／回収アレルゲン「えび」の表示欠落　2023/1/10**

**★清水商事「レンジでサーモン ガーリックペッパー、レンジでサーモン レモンペッパー」 - 返金／回収　アレルゲン「乳成分(A)、小麦(B)」の表示欠落　2023/1/6**

**★ハーモニー「缶コーヒー」 - 回収　清涼飲料水製造業の許可を持たない施設で製造されたため　2023/1/6**

**★及川忍「乾燥コウタケ」 - 返金／回収　セシウムの規格基準100Bq/kgを超過した商品が販売された可能性があるため　2023/1/6**

**★イオンリテール（イオン高橋店）「塩紅鮭甘塩味」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：1.7、正：1.6）　2023/1/6**

**★味の花壇「甘醤油せんべい」 - 交換／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2023/1/5**

**★OWAN「ホットケーキ/小麦　プレーン」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2023/1/5**

**★ゆめデリカ「紅鮭昆布煮」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦、鮭」の表示欠落　2023/1/5**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■広島市中区の飲食店で食中毒　カンピロバクター検出**

**1/9(月) 16:40配信　中国新聞デジタル　広島県広島市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8c2b2c99fa7c7e0170d94419c8b184ec8f99db77>

**食中毒の発生について　2023/1/9　広島県広島市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/houdou/houdou/314957.html>

1　事件の概要

　令和5年1月4日（水曜日）、市民から広島市保健所に「年末に友人4名で飲食店を利用したところ、3名が体調不良である。」旨の連絡があった。

　調査の結果、患者らは、12月27日（火曜日）に4名で市内の複数の飲食店を利用し、12月30日（金曜日）に3名が腹痛、下痢、発熱を発症していた。

　患者らの共通食は、当日の食事以外になく、患者1名の便からカンピロバクターが検出されていること、患者らが受診した医療機関から食中毒患者の届出があったこと、原因となり得る食品の提供は「焼き鳥　梵ろ」に限られていたことから、この飲食店で調理された料理を原因とする集団食中毒と判断し、1月9日（月曜日）当該飲食店の営業者に対して、営業の禁止を命令した。

2　患者の状況

1. 患者数　3名
2. 主症状　腹痛、下痢、発熱

3　原因施設

1. 施　設　名　　焼き鳥　梵ろ
2. 営業の種類　　飲食店営業
3. 営業所所在地　広島市

4　原因食品

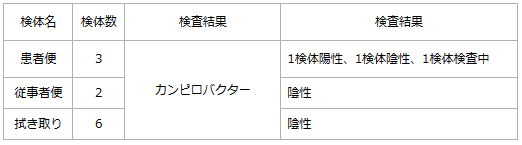
　12月27日（火曜日）提供のコース料理

　山コース「ささみの昆布締め、合鴨ロースト ベビーリーフのマリネ、鶏肉と2種野菜のピューレ、ミネストローネ、串焼（ささみ、むね肉、ロマネスコ、つくね、レバー、ねぎ、ハツ）、白レバーパテ、卵かけごはん」

5　病因物質　カンピロバクター

6　保健所の対応

1. 患者の発症状況及び喫食状況等の調査
2. 原因施設の立入調査・指導
3. 検体採取（検査機関：広島市衛生研究所等）



**■食中毒の発生について　2023/1/8　福島県いわき市**

**カンピロバクター**

<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1662268239012/index.html>

　市内の飲食店で食中毒が発生しましたのでお知らせします。

経緯

　　令和５年１月５日に、市内医療機関より「本日、下痢、発熱、腹痛等の食中毒様症状を呈している者を診察した。当該患者は、12月29日に市内飲食店を利用しており、共に利用した知人複数名も同様の症状を呈しているようだ。」との通報を受け直ちに調査を開始しました。

調査結果

　　調査の結果、発症状況及び喫食状況などの疫学的調査並びに微生物学的検査により、次の事項が判明したことから、本件を当該飲食店の食事を原因とする食中毒と断定しました。

１グループ７名のうち４名が発症し、発症者便（３名）から、カンピロバクターが検出された。

主な症状が、下痢、発熱、腹痛、頭痛等であり、既知のカンピロバクターによる症状と一致す

る。

潜伏期間が46～95時間であり、既知のカンピロバクターの潜伏期間（１～７日）と一致する。

発症者（４名）において、カンピロバクターに感染し得る共通食が当該飲食店で提供された食事に限られる。

発生状況

発症者関係

発症日時　令和４年12月31日　午前７時から

症状　下痢、発熱、腹痛、頭痛等

発症者数　総数４名

（内訳）

　男性：２名（34歳、36歳）、女性２名（36歳）

　　注：発症者所在地：市内４名

通院患者数　２名（入院なし）

原因食品　12月29日に提供された食事

病因物質　カンピロバクター

原因施設

所在地：いわき市

屋号：八禄

業種：飲食店営業（軽料理店）

行政措置　営業停止処分　令和５年１月８日から10日の３日間

参考　本市管内における食中毒の発生状況（本件を含まない）



**★ウイルスによる食中毒★**

**■松田のすし店の出前で食中毒　２５人が嘔吐や下痢　神奈川新聞 | 2023年1月12日(木) 19:30　神奈川県松田町**

**ノロウイルス**

<https://www.kanaloco.jp/news/social/case/article-962036.html>

**食中毒の発生について　2023年01月12日記者発表資料（県政・小田原記者クラブ同時発表）　神奈川県松田町**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e8z/prs/r8933030.html>

　　1月5日（木曜日）、「年末に松田町の飲食店が提供した寿司弁当を食べた複数の人が食中毒様症状を呈している。」旨の連絡が小田原保健福祉事務所足柄上センターにありました。

当センターで調査を行ったところ、食中毒様症状を呈している人の共通の食事がこの飲食店が提供した食事だけであること、症状が共通していること、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、本日、この飲食店が提供した食事を原因とする食中毒と決定しました。

1　摂食者数　31名（男性：12名、女性：19名）（調査中）

2　患者数　25名（男性：10名、女性：15名）（調査中）

3　入院者数　0名（調査中）

4　初発日時　12月29日（木曜日）13時頃（調査中）

5　主な症状　嘔吐、吐き気、下痢、発熱など

6　原因施設

名　称　松寿司

業　種　飲食店営業

所在地　足柄上郡松田町

7　原因食品　調査中

12月28日（水曜日）昼に提供された主なメニュー

寿司（マグロ中トロ、たまご、イカ、蒸しエビ、いくら、マグロ赤身、鉄火巻）など

8　病因物質　ノロウイルス

9　措置　原因施設に対して、1月12日（木曜日）から営業禁止

神奈川県の食中毒発生状況（本日発表の1件（注記）を含む）

テーブル

自動的に生成された説明

**■違反施設に対する行政処分等の情報　更新日：2023年1月12日　大阪府堺市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/shokuhineisei/anzenjoho/kaishu/gyosei.html>

　発生年月日（公表年月日）　令和5年1月7日（令和5年1月12日）

違反施設

　　業種名　飲食店営業

施設の名称　社会福祉法人マーヤ　マーヤの里鈴の宮

所在地　堺市中区

　違反の理由（内容）　食品衛生法第6条第3号違反（食中毒の発生）

措置内容　1月12日から13日まで2日間の営業停止

備考

【病因物質】　ノロウイルス

【原因食品】　1月6日に当該施設で調製された食事

【有症者数】　45人

**■鮮魚店を３日間の営業停止に 仕出し弁当で食中毒 東根市　01月12日　20時37分**

**山形 NEWS WEB　山形県東根市**

**ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/yamagata/20230112/6020016377.html>

**■群馬・高崎市の飲食店で食中毒　出前利用の客13人が腹痛や下痢 全員快方に向かう**

**1/12(木) 20:52配信　群馬テレビ　群馬県高崎市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/880516cb8ff1ecb192eed973955e38f080c58a62>

**■元日の給食が原因　病院・介護施設で患者ら34人が食中毒　ノロウイルスを検出　香川・綾川町　1/9(月) 11:16配信　KSB瀬戸内海放送　香川県綾川町**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e3c335e53a90c7482a601eba3b9aae21f27fca66>

**元日朝の食事か　香川県綾川町の介護老人保健施設と病院で34人が食中毒症状　ノロウィルスを検出　1/8(日) 22:18配信　RSK山陽放送****香川県綾川町**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0c91734964efb357fe070315186bfa348d23cd3a>

　食中毒事故発生に関するお詫びとお知らせ　2023/1/8　トーカイフーズ株式会社

<https://www.tokaicorp.com/food/foodscontents/%e9%a3%9f%e4%b8%ad%e6%af%92%e4%ba%8b%e6%95%85%e7%99%ba%e7%94%9f%e3%81%ab%e9%96%a2%e3%81%99%e3%82%8b%e3%81%8a%e8%a9%ab%e3%81%b3%e3%81%a8%e3%81%8a%e7%9f%a5%e3%82%89%e3%81%9b/>

**■〚既報〛年末年始に食べた料理で20人が食中毒…便からノロウイルス検出　飲食店が調理**

**1/7(土) 11:45配信　福井新聞ＯＮＬＩＮＥ　福井県小浜市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/11de92a7bd9faf51d9c1bafb26f226aa81695b80>

**★寄生虫による食中毒★**

**■シメサバを食べ胃に強い痛み　「アニサキス」による食中毒　販売店で購入、夕食として食べる　"酢漬け、醤油漬け”も原因食品に　保健所が注意呼びかけ　1/12(木) 21:30配信**

**NBS長野放送****長野県長野市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7d7a53054d80ccaecdef526b723f2ab90fcaf00b>

**長野保健所管内の魚介類販売店でアニサキス（寄生虫）による食中毒が発生しました　2023/1/12　長野県長野市**

**アニサキス**

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shokusei/happyou/ch230112.html>

　 本日、長野保健所は須坂市内の魚介類販売店を食中毒の原因施設と断定し、当該施設の魚介類販売部門に対し令和5年1月12日の1日間の営業停止を命じました。

患者は、1月10日に当該施設が調理・販売したシメサバを喫食した1グループ1名中の1名で、患者が受診した医療機関において、患者の胃内から寄生虫のアニサキスが摘出されました。

【事件の探知】

令和5年1月11日、医療機関から長野保健所に、「本日、腹痛で医療機関を受診した患者の胃内から、アニサキスが摘出された。」との通報がありました。

【長野保健所による調査結果概要】

患者は1月10日に当該施設が調理・販売したシメサバを喫食した1グループ1名中の1名で、1月11日午3時頃から腹痛等の症状を呈していました。

医療機関による内視鏡検査で、患者の胃内からアニサキスが摘出されました。

患者の症状は、アニサキスによる食中毒の症状と一致していました。

患者が発症日から過去3日間に遡って海産魚介類の生食をしたのは、当該施設が調理・販売したシメサバのみでした。

患者を診察した医師から食中毒の届出がありました。

これらのことから、長野保健所は当該施設で調理・販売したシメサバを原因とする食中毒と断定しました。

関連資料

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shokusei/happyou/documents/ch230112.pdf>

　　本日、長野保健所は、須坂市内の魚介類販売店「(有)丸マ牧広商店」を食中毒原因施設と断定し、当該施設の魚介類販売部門に対し令和５年１月 12 日の１日間の営業停止を命じました。

患者は、１月 10 日に当該施設が調理・販売したシメサバを喫食した１グループ１名中の１名で、患者が受診した医療機関において、患者の胃内から寄生虫のアニサキスが摘出されました。

なお、患者は快方に向かっています。

【事件の探知】

令和５年１月 11 日、医療機関から長野保健所に、「本日、腹痛で医療機関を受診した患者の胃内から、アニサキスが摘出された。」との通報がありました。

【長野保健所による調査結果概要】

○ 患者は、１月 10 日に当該施設が調理・販売したシメサバを喫食した１グループ１名中の１名で、１月 11 日午前３時頃から腹痛等の症状を呈していました。

○ 医療機関による内視鏡検査で、患者の胃内からアニサキスが摘出されました。

○ 患者の症状は、アニサキスによる食中毒の症状と一致していました。

○ 患者が発症日から過去３日間に遡って海産魚介類の生食をしたのは、当該施設が調理・販売したシメサバのみでした。

○ 患者を診察した医師から食中毒の届出がありました。

○ これらのことから、長野保健所は当該施設が調理・販売したシメサバを原因とする食中毒と断定しました。担当保健所 長野保健所患者関係

　　　発 症 日 時 １月 11 日 午前３時頃

患 者 症 状 上腹部違和感、腹痛、吐き気

患 者 所 在 地 須坂市

患 者 数及 び 喫 食 者 数

患者数／喫食者数 ：１名／１名

（患者内訳） 女性：１名（年齢：40 歳代）

入 院 患 者 数 ０名

医療機関受診者数 １名

原因食品 令和５年１月 10 日に調理・販売したシメサバ

病因物質 アニサキス

原因施設

施 設 名 (有)丸マ牧広商店

施設所在地 須坂市

営業許可業種 魚介類販売業

措 置 営業停止期間 令和５年１月 12 日の１日間

テーブル

自動的に生成された説明

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2023/1/10　品川区**

**アニサキス**

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/kenkou/kenkou-eisei/kenkou-eisei-syokuhin/hpg000025581.html>

　営業施設に対し、品川区が行った不利益処分等についてお知らせします。

公表年月日　令和5年1月10日

被処分者業種等 飲食店営業

施設の名称および施設の所在地

五反田魚金

東京都品川区

適用条項　食品衛生法（食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法（昭和22年法律第233号）、以下「法」という。）第6条第3号の規定に違反するので、法第55条第1項の規定を適用

※食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた者であるから、当該営業者に対する不利益処分については、この法を適用する。

不利益処分を行った理由　食中毒の発生

不利益処分等の内容　令和5年1月10日の1日間の営業の一部停止

（一部：生鮮魚介類（冷凍品を除く）の生食用での調理、提供に限る。

　※冷凍品とは－20℃で24時間以上冷凍をしたものをいう。）

備考

原因食品：当該施設が令和4年12月24日に提供した刺身（イワシ、サーモン、ハガツオ（炙り）およびショッコ（カンパチの幼魚）もしくはシマアジ）

病因物質：アニサキス（A.simplex sensu stricto）

**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■**

**★ウイルスによる感染症★**

**■一関市の保育所でノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生　園児13人に症状　今年県内初**

**1/12(木) 9:38配信　IBC岩手放送　岩手県一関市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/16ff2099c0a6f844de64016f6bab157c972baf4a>

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品★**

**■**

**★その他関連ニュース★**

**■ヘビの混入した給食で児童30人が病院に搬送される　インド**

**1/12(木) 17:18配信　ニューズウィーク日本版**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/fa45a90c9ee79a8deaff335a34c91f4e7ef6d956>

**■【感染症情報】感染性胃腸炎が4週連続で増加 - RSウイルス感染症は2週連続で減少**

**1/10(火) 15:20配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/347edc5444653cf582165c6d44aa2d54a0a141a3>

**■天然にシアン化合物を含む食品による食中毒に気をつけましょう**

**更新日：2023年1月6日　群馬県**

<https://www.pref.gunma.jp/site/shokunoanzen/177624.html>

　キャッサバ、キャッサバの葉、亜麻の実、杏子の種子、梅の種子、ビワの種子には、リナマリンやアミグダリンといった青酸を含む天然の有害物質（総称して、「シアン化合物」と言います。）が多く含まれています。シアン化合物を高濃度に含む食品を多量に摂取すると、健康を害することがありますので、注意しましょう。

　キャッサバは、日本人にはあまり馴染みがありませんが、インターネット等では、キャッサバを使った料理や菓子等のレシピが多数紹介されています。キャッサバを食べる場合は、皮をむき十分に火を通すなどの処理を行うことが必要です。処理が不十分ですと、シアン化合物が残っている可能性がありますので、食べた後に体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を受けましょう。

　このページに関するお問い合わせ先

健康福祉部食品・生活衛生課食品安全推進室　安全推進・表示対策係

〒371-8570前橋市大手町1-1-1

Tel：027-226-2421 027-226-2431